
D . G r a y - m a n 夢小説 『守りたかったただけなのに』

夕神

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D・Gray-man 夢小説 『守りたかったただけなのに』

【Nコード】

N1472E

【作者名】

夕神

【あらすじ】

仲間を守るために死んでしまったエクソシスト・神田ユウ。アレ
ンの人生を大きく狂わせる。

(前書き)

ちよつとBLまじりです。
後、死ネタです。

D・Gray-man 夢小説 『守りたかったただけなのに』

どうして…

先に逝ってしまうの？

『俺は…あの人を見つけるまで死ぬワケにはいかねえんだよ。』

そう君は

言ってたよね？

死なないんじゃないかなかったですか…？

それとも

あれは嘘だったんですか？

嘘だなんて…

「アレ…？これは…？」

「分からない…です…。」

ラビにも信じられる事実では無いだろう。

目の前には

血の池の真ん中に横たわる

神田だけだった。

敵の姿はない。

神田に生气も 無い。

立ちすくむ身体。

僕は君が嫌いだったはず…

なのに…

ポロッ

涙が頬伝って落ちる。

どうして僕は

泣いているのだろう。

パシャ

まだ乾いていない血の池の上を走る。

「アレンっ！」

呼ばれても

届かない。

スッ

あんなにも綺麗だった漆黒の髪は

血によって紅くなっていた。

僕は血の池にしゃがみ、神田を抱き上げた。

神田の上に涙が落ちる。

「死なないって言ったじゃないですかっ……。」

答えが返ってくるわけが無いのに

「嘘着いたんですか？神田っ……。」

ポロポロと流れる涙。

後ろから聞こえるラビの声。

せめて

さよなら

と言いたかった。

好きなんです

そう言って笑いたかった。

なのに……

君はっ……

死んでしまった。

『大丈夫だから先行け。』

そう言つて

死んでしまった。

どうして…

大丈夫じゃないじゃないですかっ

そんなにも…

僕らを守りたかったのか？

僕だって…

同じように

神田を守りたかった。

きつとラビもそうだろう。

「神田あああああ！どうして…どうして死んでしまったんですか

…っ！」

力の限り

叫んだ。

神田…

好きだったんです。

ずっと…

逢った時から

好きだったんですっ…

でも

もう貴方には

逢うことも

話すことも

一緒にAKUMAを倒すことも

冗談いったりして笑いあったりも

喧嘩も

全部…

出来なくなるなんてっ…

考えられませんよ。

貴方を

忘れることも無理ですよ

『お前みたいな甘いやりかたは大嫌いだ。が口にしたことを守れない奴はもつと嫌いだ!』

『俺達は「破壊者」だ。「救済者」じゃないんだぜ』

『テメエに大事なものは無いのかよ!!!』

『犠牲があるから救いがあるんだよ新人。』

『お前ら先行つてろ』

沢山の神田との思い出…。

「アレ…そろそろ行くぞ。」

「……………」

「信じられないのは分かるさ。でも、今はユウの為に進むさ。」

神田の…為に。

僕は進まないといけないんだ。

神田 大好きでしたよ

これからも好きでいていいですか？

- END -

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1472e/>

D . G r a y - m a n 夢小説 『守りたかっただけなのに』

2011年1月1日14時34分発行